

1 単元名 器械運動(跳び箱運動)

「ピタッと着地！YOUの力でチャレンジジャンプ！」

2 学年 組・人数・指導者 第3学年1組 30名 高橋 英利香

3 単元について

今ある子どもの姿

めあてにむかって進んで取り組む姿

タグラグビーでは、トライをするために、「攻め方を考えよう」というめあてに対して、走り方を工夫したり、パスをもらう位置を考えながら、試合をしたりする姿がみられた。慣れの運動や2対3の簡単なゲームを行いながら、課題に対して粘り強く取り組んでいこうとする姿が見られた。

かかわる姿

タグラグビーでは、全体で慣れの運動や攻め方・守り方のポイントをおさえながら学習を進めてきたことで、友達の良いところを見つけ、アドバイスをする姿が見られた。

また、チームの団結の大切さを伝え、ボール操作が苦手な子に対しても、励まし合う声かけが多かった。

単元に対する子どもの思い

○できない技をできるようにしたい。

○たくさん練習したい。

○できる技をもっときれいにしたい。

○友だちと教え合ってうまくなりたい。

期待する子どもの姿

○いろいろな技に取り組む中で、友だちと励まし合い、教え合いながら学習を進めていき「できた！」の笑顔と楽しさを味わおうとする。

○技のポイントをとらえて自分に合っためあてをもち、めあて実現のための場や方法を選んで取り組もうとする。

○基本的な支持跳び越し技を安定した動作で取り組もうとする。

4 単元目標

自分の力に合った技を選び、めあて実現に向かって場や練習方法を考えながら取り組めるようにする。また、友だちと教え合い、励まし合うことで「できた！」の笑顔と喜びを共感することができるようにする。

5 磯子区情報・視聴覚部研究テーマとのかかわり

「児童の情報活用能力を高める指導のあり方」

- ① 各教科、各領域、総合的な学習の時間の中において、児童が様々な情報に触れる場面で、どのような指導が必要か。(情報選択、モラルの指導)
- ② 児童が学習の手段として、情報機器を適切かつ効果的に活用できるためには、どのような指導が必要か。

○活用する視聴覚機器…ウェブカメラ・パソコン

テーマにせまるために

- ① について… 本単元では、本時のめあてを達成するためにウェブカメラを使って自分の動きを撮影する活動を行う。事前に同じ技を行う友だちとグループにさせ、どこを中心に観察すればよいかを確認し、どこをどのように修正していけば、技の完成度が高くなるのかを考え、アドバイスをもらいながら取り組んでいきたい。ウェブカメラ以外の掲示物や資料、模範動作の映像などから、目的にあった情報を選び、活用できるようにしていきたい。
- ② について… デジタルカメラは体育のほかにも社会のまちたんけんや係活動などでも使えるようにしてきた。撮影した写真をみて、どの情報が授業にとって必要なのかを考え、整理することができていた。

ウェブカメラについても、前単元の「マット運動」で常に配置し、子どもたちが自分の姿を撮影することによって、技をよりよくするためや、自分のめあてがしっかりと達成できているかを確認することができた。確認する視点を常明確にし、ビデオを見ることに対して声をかけてきた。

6 単元計画

3年 器械運動 (跳び箱運動) 活動計画 「ピタッと着地！YOUの力でチャレンジジャンプ」 8時間			
<単元目標> 自分の力に合った技を選び、めあて実現に向かって場や練習方法を工夫しながら取り組めるようにする。また、友だちと教え合い、励まし合うことで「できた！」の笑顔と喜びを共感することができるようにする。			
	はじめ(つかむ)1・2・3	なか(楽しむ)4・5・6・7	まとめ(豊かにする)8
学習活動	○学習のねらいや内容を知り、跳び箱運動の学習の進め方や見通しをもち、めあてが達成できるような学習にする。 1 今の自分の力を知ろう 2 開脚跳びと台上前転を安定して跳べるポイントを見つけて取り組もう。 ○場の準備をして、慣れの運動を行う。 ◆慣れの運動が主運動につながることを意識づけ、友だちと見合いながらめあてをもって学習を進めることを確認する。 ○自分ができる技に取り組み、自分の力をつかむ。 ・開脚跳び ・台上前転 ◆技の達成度が確認できる資料や場を設定したり、ポイントを見つけられるように声かけをしたりする。 ○自分に合っためあてをもつことができるようにする。 ◆学習カードや資料を使って自分の力に合っためあてをもつことができるように声かけをする。	○慣れの運動 うさぎとび⇒うさぎのもちつき(ふみ切りから腰上げ)⇒支持でとび上がり とび下り 自分に合った技を選び、安定して跳べるポイントを見つけて挑戦しよう。	
		○同じ技に取り組む子同士でグループを組み、互いに見合いながら技のポイントを見つけ、より上手にできるようにする。 ◆動きを示した学習資料を用意し、ポイントを見つめながら取り組むように声をかける。 ◆自分の動きを振り返ることができるようにウェブカメラを用意する。 ◆自分の力に合った練習ができるように場の設定をする。 ○学習のまとめをする。「できたこと」「見つけたポイント」「友だちの良さ」を視点に振り返り、次時のめあてをもつ。 ◆めあての達成、アドバイスの仕方、練習の取り組み方を称賛する。	○今まで取り組んできた技を互いに見合い、練習でうまくなったところや、成長したところを見つける。 ○発表会を行う。 ◆動きを示した学習資料を用意し、ポイントを見つめながら取り組むように声をかける。 ◆自分の動きを振り返ることができるようにウェブカメラを用意する。 ◆自分の力に合った練習ができるように場の設定をする。 ○学習のまとめをする。「できたこと」「見つけたポイント」「友だちの良さ」を視点に振り返る。 ◆めあての達成、アドバイスの仕方、練習の取り組み方を称賛する。

7 評価基準の具体と具体的な姿

3 年器械運動(跳び箱運動)評価基準の具体化

	はじめ	なか	まとめ
運動への関心・意欲・態度	○今の自分の力に合った技や動きに取り組もうとする。 ○協力して運動しようとする。 ○運動する場や器械・器具の使い方などの安全を確かめようとする。	○それぞれの技を習得しようと、跳び箱運動に進んで取り組もうとする。 ○協力したり、励ましあったりしながら運動しようとする。 ○用具の準備や片づけ、場の安全に気をつけて運動しようとする。	○最後まで粘り強く技に取り組み、課題を解決しながら運動を楽しもうとする。 ○協力したり励まし合ったりして、運動しようとする。 ○用具の準備や片づけ、場の安全に気をつけて運動しようとする。
	・器械運動の基本的な技に取り組んでいる。 ・動きを見合っている。 ・用具の運び方や、学習のルールを守っている。	・自分の力に合った技を選び、技ができるようになるために、やさしい場を選んで取り組んでいる。 ・動きを見合ったり、声をかけ合ったりしながら取り組んでいる。 ・技の開始前や終了後に場の安全を確かめている。	・できる技やできるようになった技をもとに、運動の楽しさや達成した時の喜びを味わい、より上手になろうと、自己の課題を持って取り組もうとしている。 ・動きを見合ったり、声をかけ合ったりしながら取り組んでいる。 ・用具の運び方や学習のルールを守り、場の安全を確かめながら運動しようとしている。
運動や健康・安全についての思考・判断	○技の行い方を知り、資料や学習カードをもとに、自分の力に合った技を選んでいる。	○自分の力に合った技を選び、できるようになるためのポイントや課題について考え、めあてがもっている。 ○課題を解決するための場を決めたり、学習の仕方を考えたりしている。 ○活動を振り返り、次のめあてを決めている。	○自分の力に適した技を選び、できるようになるために、資料や学習カードからポイントや課題について考え、めあてがもっている。 ○課題を解決するための場を選んだり、練習の仕方を工夫したりしながら取り組んでいる。 ○活動を振り返り、次のめあてを決めている。
	・例示された技の行い方を理解している。 ・自分の力を知り、目指す姿に合った技を選んでいる。 ・技のポイントを見つけながら、自分に合った課題を見つけようとしている。	・技をできるようにするためのポイントや自分の課題にあっためあてがもっている。 ・めあて実現にむけて必要な学習の場を選んだり、補助具の使い方を工夫したりしている。 ・教師に教えてもらったり、友だちに見てもらったりして、自分の動きを知り、課題解決に取り組んでいる。	・技をより上手にするための学習方法について考え、めあてがもっている。 ・めあて実現にむけて必要な学習の場を選んだり、補助具の使い方を工夫したりしている。 ・技のポイントを理解して、友だちとアドバイスし合いながら、課題解決に取り組んでいる。
運動の技能	○自分の力に合った技や、関連した動きに取り組むことができる。	○自分の力に合った今できる技やできそうな技に取り組むことができる。	○今できる技やできそうな技に、自分の力に応じた場で取り組む。
	・基本的な支持跳び越し技に関連した動きができる。	・慣れの運動が正しい動作でできる。 ・開脚跳びや台上前転ができる。	・安定した動作で跳ぶことができる。 ・ポイントを意識して、開脚跳びや台上前転ができる。

8 本時展開 (本時 5/8)

(1)本時目標

<関心・意欲・態度>

- ・友だちと協力して準備や片づけを行い、場の安全を確認している。

<思考・判断>

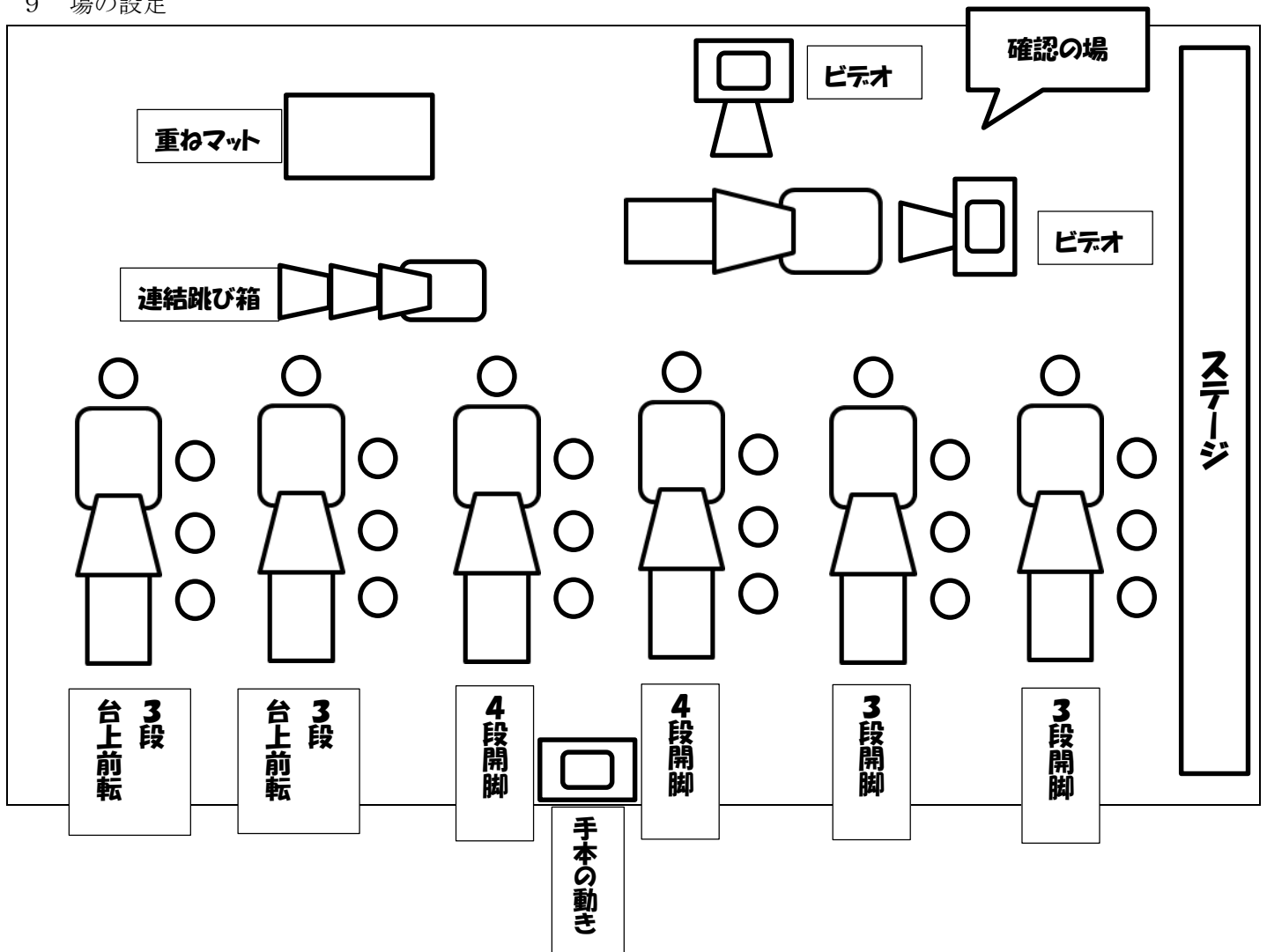
- ・自分の力にあった技を選び、めあてをきめ、課題にあった場を選んでいる。

<技能>

- ・技のポイントを意識して取り組んでいる。

(2)本時展開

	学習活動	主な◆指導と◇評価の視点 ☆視聴覚機器の使用
	1 準備運動・活動の場の準備をする。 ・グループで協力して安全に場の準備を行う。 2 慣れの運動 ・うさぎとび ・ふみ切りから腰上げ ・支持でとび上がり とび下り	◆役割分担をし、素早く動けるようにする。 ◇友だちと協力して準備や片づけを行い、場の安全を確認している。(関) ◆正しい動きで慣れの運動ができるように声かけを行う。
自分に合った技を選び、技をきれいにしたり、新しい技に挑戦したりしよう！		
	3 本時の学習めあてについて確認する。 ・取り組む技と見合うポイント ・技ごとにグループになり、自分のめあてに向かって見合いながら取り組む。 ・全体で振り返りを行い、技のポイントを確認する。 ・めあてを達成した人の紹介 4 整理体操・片づけを行う。 ・次回の学習の予告 6 学習カードに記入する。	◇自分の課題に合っためあてをもち、技をできるようにするためのポイントを見合っている。(思) ☆ポイントが分からない児童に対して、掲示物の資料を使ったり、ウェブカメラを使ったりして、どのように技を改善していけばよいか、助言する。 ◇課題に合った場や補助具を使って取り組んでいる。(思) ◆技をきれいにできた子に実演してもらい、ポイントを確認する。 ◆よいアドバイスの仕方について確認する。 ◆役割分担をし、素早く動けるようにする。 ◆めあての達成や、気づいたポイントについて振り返ることができるように助言をし、次のめあてがもてるようにする。



名前(

今日のめあて		今日のめあて		今日のめあて	
めあてをいしきして取り組めた		めあてをいしきして取り組めた		めあてをいしきして取り組めた	
友だちと協力してじゅんぴ・片づけをすることができた		友だちと協力してじゅんぴ・片づけをすることができた		友だちと協力してじゅんぴ・片づけをすることができた	
友だちにアドバイスをしたいアドバイスをもらうことができた		友だちにアドバイスをしたいアドバイスをもらうことができた		友だちにアドバイスをしたいアドバイスをもらうことができた	
さんからもらったアドバイス		さんからもらったアドバイス		さんからもらったアドバイス	
ふいかえい		ふいかえい		ふいかえい	